

## 金有美ピアノ演奏会

6月5日 水曜 6月に入り、夏の暑さとなっている。乾いた高温の空気。洗濯物の乾きは抜群だが・・・。

週末に北京に行った金珉珠と韓美延も教室に戻ってきている。バトウーたちも揃い、月曜日の3日に閑散としていた教室もようやく賑やかになった。

この日夕刻、キャンパス南院の例の音楽庁で、アメリカからのお客様、金有美さんのピアノ演奏会が開かれた。定期的に南院に通っていたので、この人の演奏会情報ををポスターで早くから知るところとなった。例の写真屋さんのシャッター音に困っていたので、卒業記念でもないプロの演奏家の登場とあって、とても期待して出かけた。この金さんも中国人ではなく、演奏の初めにアリアンを選ぶ位だから、韓国の出身だった。楽曲は、本人が追及している現代曲や実験的要素のある音楽が中心だった。ラヴェルの『左手のためのピアノ協奏曲』は、第一次世界大戦に出征して右手を失ったパウル＝ヴィトゲンシュタインのために作った作品で、金さんは左手だけを使ってこれを演奏した。その他、現代曲になると、指ではなく腕をけん盤に叩いて演奏するような曲も披露した。

金さんがなぜこの地に呼ばれたかと言うと、遼寧師範大学とも縁のある馬という演奏家の女性が、何年か前アメリカのオハイオに渡り州立大学で韓国から来た金さんと同学だったらしい。この日はその馬さんと、サクソ奏者の張さんも客演し、充実した舞台となった。観客は今回も内輪と私のような数少ない外野だけだったので、演奏が跳ねてから立ち話で歓談した。張誠さんは、日本の東京芸術大学で修士号をとったそうで、少しは日本語も話していた。

そこへ何人か日本人の男性が現れた。見たことのある顔がいた。北海道の理系の大学院に籍を置きながら、この地の交通大学で中国語を勉強している片山くんだった。この人とは、大学近くの日本食売店の前で出会い、結構話したことがあった。その学友で落合さんという中年男性が、やけに快活だった。せっかく来たのにもう終わりですかと直談判。有美さんたちは、それならとエンニオ＝モリコーネの『シネマパラダイス』のテーマ曲をわざわざ合奏してくれた。留学先の中国で、自分の好きなモリコーネの楽曲を生で聞かせてもらえるとは！本当に感動した。有美さんも、中国に招かれたら何故か日本人にまで出会う経験を面白く思ったのか、今度市内で演奏会をやりますから来てくださいと、我々に告げた。因みに、交通大学とは、工学系と言うより情報系の学部を擁する機関だ。遼寧師範大学の東隣り、地下鉄の駅でも次なので、この南院までさほど遠くない所から来たことになる。

その後、落合さんにせっかくだからお茶でもと誘われ、黄河路沿いの喫茶店

に呼ばれた。片山くんも同行した。中国には何故か『上島珈琲』というチェーンの喫茶店がある。日本の UCC とは無関係のようだが、初めに「おしぼり」が出てくるところは、日本的だとも思う。落合さんはまだ定年には早い年齢。静岡だったと思うが、会社の経営者だとか。そういう身分の人は比較的自由度が高いのか、もう大連には長い滞在だと言う。こちらはあまり話すことがなかったので、中国に来て感じた「文明批評」のような話を、さもしたり顔で話したものだ。終わりに、片山君と金さんのコンサートの件で話すが、チケットはスマホで申し込まないとと言われ、それなら一緒に買っておいってくださいと告げ、そのコンサートにも行くことにした。これは後程・・・。

金有美さんは、ソウルの梨花女子大学の出身。現在アメリカ・オハイオ州のオハイオ・ウェズレアン大学でピアノ演奏の講師をしておられる。こちらにその案内があります。

[Youmee Kim | Ohio Wesleyan University \(owu.edu\)](http://owu.edu)



花束をもつ金有美さん